

ここが聞きたい 2人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目に一般質問が行われ、2人の議員が町政について質問しました。



石川 保 議員 (9ページ)

① LRT整備事業費35億円増額について



中村 由美子 議員 (10ページ)

① 新型コロナウイルス感染症対策について

次回の定例会は 6月1日からの予定です。

ただ今、多人数の傍聴受け入れは自粛
させていただいております。
議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の
行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、
所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受
ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、
通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以
内とされています。



石川保が問う LRT整備事業費35億円増額 総事業費100億円は優に超える

当初から一貫して46億円が総事業費として説明されてきた。今日に至って新たに事業費の35億円という想定を遥かに超える増額の提示は到底理解できない。

問 設計の見直しとして、すでに地質調査や地盤調査は当初の段階で完了している。

このタイミングで改めて施工条件の対応によると説明があり、結果「15億円増額」はいかがなものかと思うが。

答 町長 他都市の導入実績などを参考に、標準的な単価を用いて算出しましたが、

変電所や電気、通信設備の整備、軌道工事など本町がこれまで経験したことのない大規模な事業であり、精度の



▲かしの森公園へ続く勾配区間

高い事業費の精査ができませんでした。

問 地下埋設物等の移設に伴う「11億円」

の増額は当初からの設計にあるべきものでは

答 町長 当初、工事の実施に支障となる

物件は確認できませんでしたが、工事の発注工区毎に、順次、各施設管理者等との協議や立会いを行い、移設の必要性が確認されたため、費用の精査を行ったものです。

問 トランジットセンターの予算が当初

の46億円の予算に入っていないと聞いたが。

答 町長 当初の計画段階においては、

整備内容が未定であり、また、既存のバスターミナルの活用なども含め今後の検討課題があったことから、事業費の算出は困難であり示すことができませんでした。

問 LRT総事業費は芳賀町だけでも

「実質100億円を優に超える」が、芳賀町の起債がかつてない最大規模になるのでは。

答 町長 財源の確保については、まずは

国の交付金を確保することを最優先に取り組み、財政調整基金を最大限活用しながら、起債により事業費を確保し、早期完成に向けて事業を進めていきます。

問 町長は平成30年度（2018年）には

解っていたのではないかと。その時点で議会や町民に対し丁寧な説明が必要だったのでは。

町民の多くが疑念を持っています。

答 町長 職員たちが

仕事の基本的なノウハウが落ちてしまっただと思っています。まずは、広報はがや芳賀チャンネル等を活用しながら、より一層町民理解の促進に努めていきます。



▲管理センター前停留場トランジットセンター拠点



中村由美子が問う 新型コロナウイルス感染症対策

問 ワクチン接種に向けて準備が進められているが、現在の状況と対策は？

答 町長 町では、新型コロナウイルス感染症対策係を設置し、接種実施体制の調整、コールセンターの開設、予防接種台帳システム改修、接種クーポン券発行の準備を進めています。集団接種を基本として個別接種もできるように調整中です。集団接種会場は農業者トレーニングセンターにて1日100人程度、週3〜4日を予定しています。個別接種は、町内複数の医療機関での実施に向けて検討しているところです。3月中旬以降に65歳以上の方へクーポン券を送り、電話予約かインターネット予約を予定していますが、国から

の供給量がまだ明示されず、詳細な接種スケジュール等のご案内が難しい状況ですが、準備を進め、国や県の動向を踏まえて適切に対応してまいります。

問 基礎疾患のある人への接種をどのように把握するのか？

答 住民生活部長 一般接種としてクーポン券を発送し、対象者は自己申告制として早めに予約をしてもらう案内を入れるよう考

えています。診断書の提出は不要です。

問 会場まで来られない高齢者や障がい者などのフォローは？

答 住民生活部長 基本的には、家族の送迎、ひばりタクシーの利用をお願いしたい。また、重度障害や介護度の高い方は、社会福祉協議会のサービスやボランティア制度の協力を考えています。また、予約に関しても関係団体に協力いただけ

るよう検討していきます。

問 会場での医師、看護師、スタッフの確保はできているか。また、副反応に対する対策は？

答 住民生活部長 各実施日に医師2名、看護師4〜5名を予定し、現在調整中です。事務員5〜6人は職員等で確保し、その他社協ボランティアの協力をいただき実施していく予定です。また、副

反応対策として、必要な物品資材等を町が準備し、郡市医師会とも連携を図っているところです。また、広域消防と日程の情報共有をしていきます。

問 個別接種について

答 住民生活部長 基礎疾患の方で主治医に相談して接種することもできます。また、高齢者施設等の施設内での接種も検討しているところです。

その他

*運動不足による生活習慣病等の増加や悪化の対策

*中止の判断をした成人式について
聞きました。



▲80歳以上に配られているご案内

